

# 雜 報

## ◎人 事

任陸軍軍醫少尉 安 藤 貢 (十月二十日)

岡山醫科大學教授 八 木 日 出 雄 (十月二十七日)

本俸六級俸下賜 陸軍軍醫中尉 八 木 忠 亮 (十月二十八日)

依願退役被仰付 北海道帝國大學教授從五位 大 熊 泰 治 (十一月一日)

陞敘高等官二等 正七位勳六等 藤 原 鐵 太 郎 (十一月一日)

國民健康保險委員會規程第五條第一項第四號ニ依リ岡山國民健康保險委員會委員ヲ命ス (十一月一日)

衛生技師 小 川 壽 (九月三十日)

八級俸下賜 正五位 畑 文 平 (九月三十日)

敘勳四等授瑞寶章 從六位 菅 田 廣 (十月十三日)

敘勳六等授瑞寶章 陸軍軍醫中尉 江 原 猪 知 郎 (十一月九日)

依願退役被仰付 臺灣總督府醫院醫長 岩 崎 武 (十一月九日)

九級俸下賜 基隆醫院勤務ヲ命ス (十月十七日)

海軍軍醫大佐 正五位勳三等 高 城 喬

任海軍軍醫少將 海軍軍醫中佐 從五位勳三等 伊 藤 慎 一  
海軍軍醫中佐 正六位勳四等 黒 木 武 一

任海軍軍醫大佐 海軍軍醫少佐 從六位勳六等 西 田 實 雄  
海軍軍醫少佐 從六位勳五等 廣 川 濟

海軍軍醫少佐 從六位勳五等 中 村 博 郷 (十一月十五日)

任海軍軍醫中佐 正六位勳五等 丹 原 駿 夫 (十一月五日)

敘勳四等授瑞寶章 陸軍衛生軍曹 椎 木 悌 二 露 野 包 夫 (十一月十八日)

任陸軍軍醫少尉

○本多 稔君 豫て山口縣柳井町同生病院に勤務中の同君は今般北支山西省大同滿鐵大同診療所長兼醫長に就職せられたり

○赤木五郎君 豫て岡山醫科大學眼科教室に於て研究中なりし同君は先般青森市青森縣立病院眼科部長に就任せられたり

○久山正策君 豫て岡山醫科大學細菌學教室に勤務し居られし同君は先般廣島縣日本赤十字社糸崎療養所に轉勤せられたり

○岡 宏君 は今般姫路市立北條病院に勤務せられたり

○相木孝行君 は豫て當市石本外科醫院に勤務し居られしが先般同市礪原外科病院に轉勤せられたり

○美田隆紀君 は今般岡山醫科大學耳鼻咽喉科教室に於て研究に従事せられたり

宮原正康君逝く 君は明治31年岡山醫事專門學校を卒業し海軍に出仕し後官を辭し獨逸國に留學し歸朝後神戸市に於て開業し居られしが去月3日病を以て永眠せられたりと寔に痛惜に堪へず謹みて茲に弔意を表す

嗚呼橋高圭三君 君は本年3月岡山醫科大學を卒業し高知市日本赤十字社支部病院に勤務し日支事變起るや勇躍應召し各地に勇戦中なりしが去る11月11日大別山附近の激戦に於て名譽の戦死を遂げられたりと寔に痛惜に禁へず謹みて茲に弔意を表す

永井政忠君逝く 君は明治24年第三高等中學校醫學部を卒業し松山市に開業し居られしが頃日二豎に犯され靜養に力められしも去月19日遂に遠逝せられたりと寔に哀悼に堪へず謹みて茲に弔意を表す

◎田淵義三郎君の榮譽

本月11日執行せられたる海軍軍醫學校の卒業式に際し同校高等科學生海軍軍醫大尉田淵義三郎君に對し在學中成績優等の廉を以て恩賜の銀時計並に短剣を下賜せられたり

◎學位授與

今井一郎、竹内信夫、佐藤靜馬、水野知文の4君は論文を岡山醫科大學に提出し學位を請求し居られしが今井、竹内兩君は10月29日、佐藤、水野兩君は本月15日孰れも醫學博士の學位を授與せられたり其主論文及び參考論文は次の如し

今井一郎君

主論文

海狼膽汁酸ノ生化學研究

1. 海狼膽汁酸ノ分離法 (昭和12年7月獨逸化學雜誌第248卷ニ發表セリ)
2. 海狼尿中「アスコルビン」酸排泄ニ及ボス海狼及ビ熊膽汁酸ノ影響 (岡山醫科大學歐文業府第6卷第1號ニ發表セリ)

3. 白鼠肝臟糖原質生成ニ及ボス海狼、熊膽汁酸及ビ「アスコルビン」酸ノ影響 (岡山醫科大學歐文業府第6卷第1號ニ發表セリ)

參考論文

1. 蕁膽汁成分ト石灰燐新陳代謝ニ就テ 附、「ビリルビン」ノ光學的感作作用 (岡山醫科大學歐文業府第5卷第4號ニ發表セリ)
2. 「デヒドロデオキシヒヨール」酸ノ蕁體內ニ於ケル運命補遺 (岡山醫科大學歐文業府第5卷第3號ニ發表セリ)
3. 冬蕁膽汁成分ノ大膽汁及ビ膽汁酸排泄ニ及ボス影響ニ就テ (岡山醫科大學歐文業府第5卷第4號ニ發表セリ)

竹内信夫君

主論文

尿酸新陳代謝ニ及ボス膽汁酸ノ影響

- 第1報 膽汁酸注射竝ニ實驗的鬱積黃疸家兎ノ諸臟器尿酸含有量ニ就テ (本誌第49年第11號ニ發表セリ)
- 第2報 「キサンチンオキシダーゼ」ニ及ボス膽汁酸ノ影響 (本誌第49年第12號ニ發表セリ)
- 第3報 其1 家兎諸臟器「ウリカーゼ」ニ及ボス膽汁酸ノ影響 (本誌第50年第1號ニ發表セリ)
- 第3報 其2 膽汁酸注射家兎肝臟竝ニ實驗的鬱積黃疸家兎肝臟ノ尿酸分解力ニ就テ (本誌第50年第2號ニ發表セリ)

參考論文

1. 「ヒヨール」酸及ビ「アドレナリン」ノ血中殘餘窒素ニ及ボス影響竝ニ其ノ相互的關係 (本誌第47年第7號ニ發表セリ)
2. 血中殘餘窒素諸劃分ニ及ボス「ヒヨール」酸

- 並ニ「アドレナリン」ノ影響 (本誌第 49 年第 10 號ニ發表セリ)
3. 膽囊犬血中殘餘室素量ニ及ボス膽汁分泌ノ影響 (本誌第 49 年第 5 號ニ發表セリ)
  4. 尿中總室素及ビ諸種室素含有物排泄ニ及ボス膽汁酸及ビ「アドレナリン」ノ影響 (本誌第 49 年第 9 號ニ發表セリ)
  5. 膵ノ膽汁酸ニ就キテ (岡山醫科大學歐文業府第 5 卷第 3 號ニ發表セリ)

佐藤 靜 馬 君

#### 主 論 文

##### 尿中有機酸ノ研究

- 第 1 報 實驗的「アチドージス」並ニ「アルカロージス」ニ於ケル尿中有機酸 (追テ本誌ニ發表ノ豫定)
- 第 2 報 加温、冷却、發熱時ノ成績 (追テ本誌ニ發表ノ豫定)
- 第 3 報 肝機能障礙時及ビ 2, 3 新陳代謝障礙時 (追テ本誌ニ發表ノ豫定)

#### 參考論文

1. 動物體內解毒作用ト其變調ニ關スル研究 (鴉飼昌雄共著) (追テ本誌ニ發表ノ豫定)
2. 動物體內解毒作用ト酸化機序トノ干渉ニ就テ (鴉飼昌雄共著) (追テ本誌ニ發表ノ豫定)
3. 尿及ビ血清中「オキシプロテイン」酸「フラクテオン」ノ研究 (追テ本誌ニ發表ノ豫定)
4. 尿及ビ血清中「オキシプロテイン」酸「フラクテオン」ノ研究
  - 第 2 報 脾臟剔出ノ意義ニ就テ (追テ本誌ニ發表ノ豫定)
5. 尿及ビ血清中「オキシプロテイン」酸「フラクテオン」ノ研究
  - 第 3 報 血清内「オキシプロテイン」酸「フラクテオン」ノ研究 (追テ本誌ニ發表ノ豫定)

6. 黃直ヲ伴ヘル猩紅熱ノ 1 例 (日本傳染病學會雜誌第 7 卷第 8 號ニ發表セリ)
7. 黃直ヲ伴ヘル細菌性赤痢ノ 1 例 (本誌第 50 年第 11 號ニ發表セリ)

水野 知 文 君

#### 主 論 文

##### 骨體ノ發生學的研究

###### 其 1. 骨體帶ノ發生學的研究

兩棲類有尾目特 = *Diemyctylus pyrrhogaster* = 於ケル檢索 (本誌第 49 年第 12 號ニ發表セリ)

###### 其 2. 同上

兩棲類無尾目特 = *Bufo vulgaris japonicus* = 於ケル檢索 (本誌第 50 年第 2 號ニ發表セリ)

###### 其 3. 同上

爬蟲類特 = *Clemmys japonica* = 於ケル檢索 (本誌第 50 年第 6 號ニ發表セリ)

###### 其 4. 同上

鳥類特 = *Hirundo rustica gutteeralis* = 於ケル檢索 (本誌第 50 年第 4 號ニ發表セリ)

###### 其 5. 同上

哺乳類特 = *Rattus albus* = 於ケル檢索 (追テ本誌ニ發表ノ豫定)

###### 其 6. 脊椎動物ニ於ケル骨體帶ノ比較發生學的觀察 (追テ本誌ニ發表ノ豫定)

#### 參考論文

- 其 1. 無尾兩棲類ニ於ケル淋巴心臟ノ發生學的研究
 

特 = *Bufo vulgaris japonicus* = 於ケル檢索 (本誌第 50 年第 3 號ニ發表セリ)
- 其 2. 同上
 

特 = *Bufo vulgaris japonicus* = 於ケル檢索

  - 第 2 報 前淋巴心臟ニ就テ (本誌第 50 年第 3 號ニ發表セリ)

◎耳鼻咽喉科臨牀會第11回總會

同會は本月20日午前8時より岡山醫科大學第1講堂に於て田中教授主宰の許に開會す。其の演題は次の如し

演 説

鼻咽腔纖維腫の「ラヂウム」療法  
 黒川 孝一(岡山)

鼻腔悪性腺腫に對する「ラヂウム」應用  
 土井 傳(大阪)

副鼻腔悪性腫瘍の「レ」線學的觀察  
 本末 城 明 朗  
 矢 廣 野 秀 三(京都)

鼻前庭癌の治験例  
 柴 類 達(京都)

篩骨蜂窩手術後に現れたる一限合併症  
 山 末 一 雄(岡山)

14箇月箆在せし鼻腔異物昆布例  
 吉 田 祺 一 郎(大阪)

眼筋麻痺の耳科的診斷  
 淺 井 良 三(京都)

「アレルギー」體質と中耳炎  
 西 垣 雄 太 郎(京都)

血清病に就て  
 飯 田 文 武(京都)

出血死に終りたる汞毒性口内炎  
 川 本 重 雄(高山)

「アトフアニール」中毒による顆粒細胞減滅性「ア  
 ンギーナ」治験例  
 中 村 勇(京都)

再三發來せる咽頭性頸部流注膿瘍の1治験例  
 荒 木 元 秋  
 成 瀬 紀 雄(京都)

聾啞兒の齒牙所見  
 坂 倉 茂 郎  
 松 村 正 澄(京都)

小兒急性傳染病に併發せる耳鼻科疾患の統計的觀  
 察  
 後 藤 光 治  
 阿 部 信 之(京都)

綠膿菌性中耳炎の臨牀的觀察  
 後 藤 光 治  
 松 村 正 澄(京都)

錐體尖端化膿の1例  
 吉 井 正 清(京都)

「アンギーナ」性頸部靜脈血栓より生じたる膿瘍例  
 遠 藤 純 一(大阪)

後頭神經痛と深型ベツオールド氏乳齶突起炎  
 小 山 三 郎(大阪)

乳齶突起手術後の丹毒と誤まれるデューリング氏  
 疱疹狀皮膚炎  
 松 原 久 之(京都)

耳性流注膿瘍患者に現れたる反側外旋神經麻痺に  
 就て  
 星 野 貞 次  
 森 本 正 紀(京都)

2箇月餘に互れる持續的腦脊髄液排出により治癒  
 せる耳性化膿性腦膜炎の1例  
 山 田 武 夫(倉敷)

細網糸腫瘍に就て(細網肉腫症の5例, 細網肉腫  
 の1例)  
 高 原 高 三  
 渡 邊 大 次(秋田)

聽器癌腫症例  
 濱 孝 雄(京都)

1. 乳齶突起炎の保存的療法に就て  
 2. (打撲後)擄痰に因る眼窠氣腫  
 宇 山 芳 郎(鳥取)

興味ある臨牀症例  
 自然喀出の結核腫  
 耳性膿毒症  
 反射神經症  
 淺 野 實(京都)

診療餘談  
 出征兵士と「プロントジル」  
 病院の食餌と寢臺  
 日本字の病名  
 大 城 鎭 和(京都)

我教室の口蓋破裂縫合術  
 附 縫合針供覽  
 長 谷 川 高 敏(大阪)

双生兒に於ける咽頭混合腫治験例  
 中 前 武 雄(大阪)

舌纖維腫の1例  
 山 本 憲 治(大阪)

「アンギーナ」に対する「チオビス」の治験報告

安山 彌太郎(神戸)

1. 「アロントジル」注射による副作用例

2. 「ロイマチス」性紫斑病患者に併發せる急性乳  
嘴突起治験例 寺田 軍二(神戸)

鈎貨子による食道損傷の1例

富永 稔(神戸)

獨逸並に米國に於ける耳鼻咽喉科醫養成に就て

小田 大吉(岡山)

下甲介より發生せる外傷性出血性鼻茸

稻山 謙雄(大阪)

粘膜下下甲介摘除 100 例に就て

木村 英雄(松江)

自ら過つて上顎竇内に空氣銃彈を射入せる1例

磯野 巖子(堺)

前額部中央に皮下膿瘍を形成せし兩側前額竇蓄膿  
症に就て 牟田 哲三郎(大阪)

高度の網膜剝離を惹起せる副鼻腔炎限窩内合併症  
の治験例 楠部 敬一郎(岸和田)

梶川 泰造

鼻竇に喉頭狼瘡症例 貴志 義雄(京都)

緑膿菌による馬鼻頂標疾患

二本 杉欣一(大阪)

上顎竇性鼻茸より發生せる血瘤腫の1例

内海 貞夫(大阪)

鼻血に對する患部粘膜搔癢の治療的價値

細見 英(神戸)

鼻咽喉腫瘍の手術法補遺

星野 貞次(京都)

浅井 良三

「アブセス、トンヂレクトミー」に就て

藤澤 康武(和歌山)

膿瘍時扁桃腺摘出術に就て

尾崎 朋晴(大阪)

細菌性聲帯癱瘓症例並に其治験

附 自家考案電熱應用喉頭鏡供覽

黒田 顯(大阪)

軟口蓋に發生せる巨大「エンドテリオーム」標本  
供覽 家永 實(神戸)

特發性會厭膿瘍症例 福良 政雄(大阪)

喉頭截開術により摘出治癒せる喉頭癌の1症例

武田 元一郎(鹿児島)

喉頭癌の療法に就て

田中文 男(岡山)

右側聲帯より發生せし皮角

川野 昇(大阪)

肥厚性喉頭炎の1新手術法

稻田 秀爾(京都)

套管拔去困難症治験例 岡本 榮之助(京都)

食道腫瘍を思はしめたる食道瘰癧症症例

佐藤 壽平(京都)

余の考案せる歐氏管「ブヂェルング」の安全操作に  
就て 石川 旭丸(廣島)

聴小筋の年齢的變化と老人性難聴との關係に就て

陳 景彬(岡山)

耳性靜脈炎に於ける網膜心血管血壓の下降に就  
て 山口 治(倉敷)

慢性中耳炎の泡沫體療法

倉田 包雄(大阪)

耳手術後の食餌の注意

藤森 眞治(姫路)

耳根治手術後療法に就て

山川 強四郎(大阪)

耳漏を伴はざる乳嘴突起炎の數例

津田 終吉(東京)

化膿性中耳炎と腦膜炎

中村 登(京都)

### 特別講演

聴官の生理に關する最近の進歩

岡山醫科大學教授

醫學博士 生沼 曹六